

地域密着型サービス評価の自己評価票

(  部分は外部評価との共通評価項目です )

取り組んでいきたい項目

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	( 印 )	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>. 理念に基づく運営</b>			
1. 理念と共有			
1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	入居者さん同士が助け合いながら生活している。理念に沿った支援ができています。	地域に出掛ける頻度を多く取り入れ、木かげのことを多くの人に知って頂く様心がけます。
2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	会議で話し合い全員で理念に沿った目標を掲げ支援を行っている。	すべての職員に理念が行き渡るようにしたい。
3	家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる	ボランティアの受け入れなどで外部の方の出入りがあることを契約時に説明している。 地域のお祭りにご家族さんと一緒に参加している。	ご家族さんの時間がつく限り、色々な行事に参加していただけるよう企画を早めに立てる。
2. 地域との支えあい			
4	隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	木かげの畑で収穫した野菜をご近所におすそわけしたり、回覧板の受け渡しの際、世間話をしている。	行事の際、近隣住民の方にも声をかける。
5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	自治会には入会しているがあまり活動はしていない。別の自治会の芋掘りや野菜の収穫祭に招待して下さる。	今後も地域の行事に招待してもらおう。木かげの行事にも参加していただく。

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	あまり実施できていない。		民生委員の方を通して、交流を広げたい。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用				
7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	外部評価以外にも、千葉市の同業者の方にホームに来ていただき改善点を聞いている。		今後も外部の方から色々な意見を聞き取り入れて行きたい。
8	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	民生委員の方に参加してもらえたが、皆さん忙しいため、二ヶ月に一度はかなり無理がある。ご家族さんは行事の後に会議を行うと良いと意見をいただける。		正直、二ヶ月に一度の会議の意味が分からない。
9	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	まめに連絡は取っていない。木かげ新聞を郵送したりしている。		今後連携を密にとって行きたい。
10	権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	勉強の祭、ホーム長より職員に説明があった。		新人職員への勉強会を実施していく。
11	虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	研修に参加した職員が全員に説明をしたり、資料を目の通せる場所に置いてある。		研修に多く参加できる環境を作る。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制			
12	<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>十分に出来ていると思います。</p>	<p>今後も十分な説明を行います。</p>
13	<p>運営に関する利用者意見の反映</p> <p>利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>管理者や職員がこまめな声掛けをし不自由が無いが常に確認はしている</p>	<p>新人職員が多くなると今まで出来ていたこと出来なくなること視野に入れて新人教育に力を入れます。</p>
14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>ご家族さんの報告は、体調不良時はもちろんだが、何か気になることが有ればすぐに連絡している。 月に一度入居者さんの日常生活の報告として担当者より手紙と写真を郵送している。</p>	<p>引き続き続行。</p>
15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>面会時や会議の場でご家族さんの意見を取り入れている。</p>	<p>どのご家族さんでも意見を言える環境作り。</p>
16	<p>運営に関する職員意見の反映</p> <p>運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	<p>運営に関して職員の意見を反映させることは難しい。(コスト面)</p>	
17	<p>柔軟な対応に向けた勤務調整</p> <p>利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている</p>	<p>行事などにより職員が足りない時は、当日に職員を多くすることは可能。</p>	<p>問題なし</p>
18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>スタッフをユニット固定している(シフト上行き来すること有り)</p>	<p>スタッフの目標として、毎日必ず両ニットの入居者さんと関わることに決めたので、どんどん顔見知り関係を作って行きたい。</p>

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>5. 人材の育成と支援</b>				
19	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	外部の研修案内を掲示したり、それに合わせたシフト調整をしたりしている。		
20	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	他施設のスタッフなどに気軽に見学してもらったり、意見をもらったりしている。		交換ボランティアなど積極的にしていきたい。
21	職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	なるべく、話せるような環境として、リーダーやサブリーダーを置き間に入ってもらう形を作り、なるべくストレスがたまらないように配慮している。		
22	向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	代表者は直接的な関わりはもたないが、スタッフの様子について色々気にかけてくれている。		
<b>.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>				
<b>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</b>				
23	初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	笑顔を常に絶やさず、入居者さんを受け入れる態度(聞き手にまわる傾聴)を分かりやすいように示している。		
24	初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	相談時になるだけ詳しく今の現状、ご家族の困っている部分などを聞かせていただいている。 他ホームを見ていただくことをお勧めしている。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	( 印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
25	初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	ご本人・ご家族から相談を受けた際、リーダー・主任・ホーム長へ報告しスタッフ間で共有し対応している。スタッフ間でどのような支援がよいのか色々試みて家族さんと相談している。		ご本人から上手く訴えが伝えられない方に対して、必要としている支援を上手くしていきたい。都度、変化のあった時にはケース会議を行いケアプランに入れている。又スタッフ全員で統一して対応するようにしている。そして、ご家族・ご本人が納得・安心して頂ける様に努める。
26	馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	ご家族等と相談しながらサービス行っているが、場の雰囲気に入れず淋しい思いをされている方も居るため間に入り馴染める様にしている。入居前に見学・体験入居などして貰える様に声を掛けている。		本人から上手く他利用者の方に馴染もうとされない方には、スタッフ間に入るようにしている。
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援				
27	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	ご本人の出来る事はして貰い、出来ない事を手伝わせて頂いている出来る事は自分でして貰える様に声を掛け、その都度ねぎらいの言葉を忘れない様にしている。本人が不安を訴えている時には、感情を出来るだけ受け止め、話をゆっくり聴き安心してもらえる様に心がけている。		出来ない事でなく出来る所に目を向けていきたい。1人1人得意な事や好きな事を、もっと把握して色々な事をしていきたい(編み物や畑など教えてもらいながら)今後もゆっくりと話を聴き信頼関係を築いていきたい。
28	本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	ホームでの様子を、手紙や面会時・電話等で伝えている。参加型イベントを企画し参加して頂いている。		行事の時は一緒に準備をして貰ったりし、利用者様・家族様・職員のコミュニケーションを増やす様にしている。参加して貰えるイベントを増やしてかかわる機会を増やしていきたい。面会時など、ご本人の馴染みの場所等へ行って頂きたい。無理なら職員で行きたい。家族側の気持ちも良く考えていきたい。
29	本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	入居前に情報を頂いたり面会時等に日頃の様子を伝えたり、昔の話を伺ったりしている。ご本人の希望や思い等をご家族様に伝えている。		入居前の話等を日頃の生活に取り入れられる事があつたら生かして生きたい。本人から気持ちを伝えられる様に支援していきたい。
30	馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ご家族等と相談しながら馴染みの場所へ行ける様お願いしている。自宅訪問をさせてもらったりしている。		無理な場合は、出来る範囲でスタッフで同行したい。ご本人の希望を聞き出掛けて行きたい。ご家族の応援が必要だと思い、家族会議など取り組んでいきたい。
31	利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	利用者様同士の相性等を気にとめつつ、仲間上手く入れない方には職員が関わり、きっかけを作り自然に入れるようにしている。けんかや嫌な思い等ない様に職員が間に入りフォローしている。		数人のグループや皆で楽しめることを増やして行きたい。忙しい時間等に一人ぼっちになりやすい方が居るので、もっと上手く巻き込める様にしていきたい。利用者さん同士が仲間であると伝えていきたい。

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	( 印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
32	関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	ボランティアで三味線を見せて頂いた事もあったが、他の方はあまり交流を取れていない。		ご家族様の気持ちを大切に無理強いはいしていない。ポラで来てもらえる時は来て頂いている。
<b>.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>				
1.一人ひとりの把握				
33	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	出来る範囲で、思いや暮らしの希望意向を伺い実施している。出来るだけゆっくりと話す時間を作ったり普段の会話の中で思いを聴き出せる様に努めている。		上手く言葉に出来ない方の意向思いをくみとっていききたい。
34	これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居前に情報を素に本人からも聞きだし、アセスメントシートに記入してスタッフ間で把握している。生活歴や馴染みの暮らしを出来る様にたんす等使っていた物を持ち込んで頂いている。		懐かしいと思われる事や話しをして楽しく過ごして頂きたい。ご家族・ご本人より、より詳しく聴ける様にしていきたい。
35	暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	ケース記録や申し送りで把握出来る様に努めている。スタッフ間での情報交換や記録・定期的にケース会議やアンケートを実施している。		実施しているが、もっと一人一人の把握を強化していききたい。
36	チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	日々気付いた事を情報交換や申し送りで伝えたり、アンケートを取っている。ケース会議にご家族さんの参加を呼びかけている。		ケース会議にもっとご家族様に参加して貰えるように呼びかけて行きたい。
37	現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	会議や日頃の情報交換などで確認している。日常生活の変化に伴い、ご家族様・スタッフ間で相談しプラン見直している。		色々なケースを想定し検討していきたい。

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	( 印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
38	個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の変化に注意し変化は赤ペンでケース記録し分かりやすい様にしている。又アンケート・申し送りを活かしている。		個人記録等を分かりやすく記入して活かしていきたい。
3. 多機能性を活かした柔軟な支援				
39	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	ご本人・ご家族の要望を伺い個別に支援している。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働				
40	地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	フラダンスや中学生の職場体験・行事ボランティア参加して頂いている。		ボラで月に2回フラダンスを教えに来て頂いている。
41	他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	行っていない		横の繋がりを広げていきたい。
42	地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	行っていない		必要に応じて、検討していきたい。
43	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	定期・急変時に受診し報告や相談をしている。時にはご家族様にも同行して頂いている		定期受診と状況変化により受診している。変化がある時は相談している。

	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	( 印 )	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
44	<p>認知症の専門医等の受診支援</p> <p>専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している</p>	<p>かかりつけ医が認知症専門医の為、相談・治療や指示を受けている。</p>		
45	<p>看護職との協働</p> <p>利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている</p>	<p>元看護職のケアマネやかかりつけ医の看護師等に相談している。</p>		<p>看護職専門での常勤はいない。</p>
46	<p>早期退院に向けた医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している</p>	<p>ご家族の希望を伺いながら病院とも連絡を取り合い、お見舞い時に状態を見ている。</p>		
47	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	<p>ご家族様に状態説明し、希望や方針を伺い相談している。</p>		
48	<p>重度化や終末期に向けたチームでの支援</p> <p>重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている</p>	<p>日頃の様子や特変時には主治医に相談し指示を仰いでいる。</p>		
49	<p>住み替え時の協働によるダメージの防止</p> <p>本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている</p>	<p>アセスメントシートなどの情報交換している。</p>		<p>アセスメントシートを他施設へ行く時には渡している。</p>

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>.その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>			
1.その人らしい暮らしの支援			
(1)一人ひとりの尊重			
50	<p>プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p>常に他の方の目線を意識した対応を心がけている。一人一人に合った声掛けの仕方などに気を付けている。</p>	<p>他の方の目線を意識して声掛けにも気を付けていきたい。記録や日々の中での言動等に気をつけていきたい。</p>
51	<p>利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている</p>	<p>本人の分かり易い声掛け、気持ちを伺える様な声掛けを心がけている。納得のいく答えを考えるように気を付けている。</p>	<p>もっとゆっくりと本人の心の内を聴き出せる様な信頼関係を築いていきたい。</p>
52	<p>日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>一人一人の希望を伺える様な声掛け、支援を心がけている。一人一人が楽しめる様なレクや本人のしたい事を考えている。</p>	<p>一人一人のペースや希望をもっと考えられるよう努力していきたい。</p>
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援			
53	<p>身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている</p>	<p>理容美容室へ家族様に連れて行ってもらっている。無理な方にはスタッフが本人の希望を聞き近くの理容室へ行ったり、切らせて頂いている。</p>	<p>家族様へ連れて行って頂いたり、スタッフ同行で散髪に行っているも必ずが本人希望のお店ではない為、本人の希望の店に行ける様に家族様に相談していきたい。洋服や化粧品などの買い物を増やしていきたい。</p>
54	<p>食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	<p>一人一人の得意な部分や出来る事を把握して協力している。</p>	<p>1人でも多くの人で協力し行っていきたい。それぞれの方の郷土料理や好きな食べ物を買い物から調理と皆で決めていける様に少しずつ行っていきたい。</p>
55	<p>本人の嗜好の支援</p> <p>本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのもを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している</p>	<p>おやつやイベントなどで出来る範囲で取り入れている。個人で好きな物など購入させてもらっているが人により持病などがあり、タバコやお菓子など多くは無理な方もいる。</p>	<p>家族様や本人の希望や意向を聞き、出来る限り希望を叶えられる様に考え支援していきたい。</p>

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	( 印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
56	気持よい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	排泄パターンを考え、なるべく嫌な思いをされない様に時間で声掛けしたり、傷つかない様な声掛けの工夫をしている。		時間の関係でスタッフ本意になってしまう事があるので気を付けていきたい。
57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めず、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	無理強いせず利用者の方のタイミングに合わせ進んで入ってもらえる様な声掛けを心がけている。入浴剤を使用しゆっくりと入ってもらえる様に試みている。		受診やタイミングで入っていない方を優先に声掛けをしている部分もあり、一人一人の希望を聞けていない事や遠慮されている事も有る為、時間など希望を言いやすい環境や関係を築いていきたい。
58	安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	本人に合わせてエアコン調節をし、使い慣れた寝具を使用している。希望者以外は出来るだけトイレの声掛けはしていない。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援				
59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	掃除・体操・散歩など個々のやりたい事や出来る事を見つけていく様にし、役割や楽しみを持って頂ける様にしている。		好きな事やりたい事を日々の生活の中から引き出していきたい。スタッフが上手く時間を使えていない事もある為、もっと時間を作れるように工夫していきたい。
60	お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	普段は所持されていないが、希望に応じて買い物などで好きな物を選んで頂いている。本人・ご家族の希望で大きい金額にならない程度で持ってもらっている。		お金や買い物の心配事が安心出来る様に声掛けの工夫や外出の機会を増やして、気軽に希望を言ってもらえる様な関係を築いていきたい。
61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	近所位しか行けていない。		もっとゆっくりと外へ行く機会を増やしていきたい。
62	普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	毎月イベント担当を決め季節に応じて遠出などの企画をしているが家族様とはあまり行けていない。		もっと家族様も巻き込んだ外出企画を考えていきたい。皆の行きたい所へ行ける様に企画していきたい。

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	( 印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
63	電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	ご家族の都合の良い時間を確認し、不安やご本人の話したい時には電話を掛けさせてもらっている。毎月のご家族様への手紙と一緒に書いてもらう時もある。		毎月の手紙と一緒に同封できる事を伝えていき、好きな時に書いてもらえるようにしたい。
64	家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	明るく対応するように気を付けている。居室・リビング等の希望の場所でゆっくりお話して頂いている。		最近ではご家族様のみで友人等の訪問少なく、気軽に来て頂ける様にこえを掛けていきたい。
(4) 安心と安全を支える支援				
65	身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	正しい理解に欠けているスタッフもいるが、その都度に説明・勉強会を実施するようにしている。		スタッフ全員が正しい知識を持てる様に、更なる勉強・教育をしていきたい。
66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	夜間は玄関・リビング等の窓のみ施錠させて頂いているが、希望があればその都度開けている。居室入り口の鍵は個人に管理して頂いている。		鍵を掛けない事に対しての正しい理解を定期的にスタッフ内で再確認をしていきたい。
67	利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	常に利用者様の様子を本人に気にされない様に気を付け、さりげなく見守りをしている。		ご本人に気にされない様に気を付けさり気なく、見守り・声掛けをしていく。
68	注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	出来るだけ不自然に物を片付けるのではなく、一人一人を注意深く見守りをしている。薬品や刃物のみ鍵をかけて管理している。		全てを無くさず、スタッフが利用者様全体に目を行き届かせられる様に徹底していく。
69	事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	一人一人の状態を把握してリビング・居室で過ごされている際にも、さり気なく様子を伺う等している。		誰が何処で何をしているのか等、今以上に確認していく。定期的に勉強会開催し知識を高めていきたい。

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	( 印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
70	急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	急変時マニュアル作成し、勉強会を実施しスタッフの対応等の確認している。		勉強会を定期的実施していきたい。消防等の講習に参加し知識向上に努めていきたい。
71	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	避難経路を掲示し避難訓練の実施している。		近所へ出掛けて行き、地域の方と顔見知りの関係を築いていきたい。
72	リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている	その都度ご家族様に説明・相談をして対応策を検討・実施している。		今以上にリスクを予測し気を付けていきたい。
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援				
73	体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	バイタルサインを見逃さない様、日々の観察や申し送り・記録等スタッフ間でコミュニケーションを図り情報の共有をしている。		バイタルサインを見逃さない様に、小さな変化もスタッフ間で情報の共有をしていく。
74	服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	処方箋はファイルに閉じ常に見られる様にし、変更時は申し送り等でスタッフ全員が把握できる様に努めている。服薬・セットミス防止にセット者チェック者を別にし、薬管理の個々の引き出しにもいつ・何錠内服するかメモを貼っている。		薬についての勉強会を実施していく。現状のチェック法の継続をしていきたい。
75	便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	排泄パターンを把握し、なるべく自然排便を促せる様に体操やホットタオルマッサージやオリゴ糖・ヤクルト等取り入れている。必要に応じて医師相談時服薬の調節をしている。		現状の継続、一人一人にどんな物が合うのかを工夫・把握していく。
76	口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	声掛けや介助にて行っている。必要に応じて訪問歯科を受けて頂いている。		人によって毎食は出来ていない方も居る為、なるべくご本人の意思でして頂ける様に声掛け等を工夫していきたい。

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	( 印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
77	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	水分・食事量チェックを行い気を付けている。摂取量の少ない方は好みの物等に対応し、制限のある方には野菜を多めにしたり盛り付けや食器などの工夫をしている		
78	感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	感染症マニュアルの作成や勉強会実施して感染拡大しない様に努めている。		定期的に(時期に合わせて)勉強会を実施していく。
79	食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	調理・食材共に業者委託している為、新鮮食材で調理したての物を提供している。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1) 居心地のよい環境づくり				
80	安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	常に鍵を開け、利用者様と掃除や植物を置き壁にはスタッフ紹介の写真や新聞を掲示し明るくなる様に工夫している。		暖かい時期には玄関を開放してみたり、今以上に開放的にしていきたい。
81	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	季節の花を飾ったり、中庭の様子がよく見えるような環境。リビングにソファを置きくつろいで頂いている。テレビや音楽の音量や眩しい日にはカーテンを引き調節している。		
82	共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	テーブルやソファ・居室など好きな場所で過ごして頂ける様に配慮している。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
83	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	出来るだけ入居時のご本人が使用していた家具や食器等を持ってきて頂いている。		新しい物を用意される方も居る為、ご家族様への環境変化のダメージ等の説明を強化・工夫していきたい。
84	換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のよどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	毎日喚起をし、利用者様の希望や体調に合わせて調節している。		
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				
85	身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	廊下等には余計な物を置かず、廊下やトイレ・浴室には手すりを設置している。明るい照明やバリアフリー・広い空間を作っている。		
86	わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	各居室やトイレ等に表札を貼り、個人の物には名前を書いている。食器類は棚に何を入れているか等を貼り紙をして、片付ける場所も変えない。		
87	建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	中庭で畑や花壇を作っている。天気の良い日には芝庭にはテーブルやベンチを置き、ゆっくりとお茶や運動・日向ぼっこをして頂けている。		

. サービスの成果に関する項目			
項 目		最も近い選択肢の左欄に をつけてください。	
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる		ほぼ全ての利用者の
		5	利用者の2/3くらいの
		1	利用者の1/3くらいの
			ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	1	毎日ある
		3	数日に1回程度ある
		2	たまにある
			ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	4	ほぼ全ての利用者が
		2	利用者の2/3くらいが
			利用者の1/3くらいが
			ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている		ほぼ全ての利用者が
		6	利用者の2/3くらいが
			利用者の1/3くらいが
			ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている		ほぼ全ての利用者が
		2	利用者の2/3くらいが
		2	利用者の1/3くらいが
		2	ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	5	ほぼ全ての利用者が
		1	利用者の2/3くらいが
			利用者の1/3くらいが
			ほとんどいない
94	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	5	ほぼ全ての利用者が
		1	利用者の2/3くらいが
			利用者の1/3くらいが
			ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	1	ほぼ全ての家族と
		5	家族の2/3くらいと
			家族の1/3くらいと
			ほとんどできていない

項 目		最も近い選択肢の左欄に をつけてください。	
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている		ほぼ毎日のように
		1	数日に1回程度
		5	たまに
			ほとんどない
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている		大いに増えている
		2	少しずつ増えている
		2	あまり増えていない
98	職員は、活き活きと働けている		全くいない
		1	ほぼ全ての職員が
		5	職員の2/3くらいが
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う		職員の1/3くらいが
			ほとんどいない
		1	ほぼ全ての利用者が
		4	利用者の2/3くらいが
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う		ほとんどいない
		1	利用者の1/3くらいが
			ほとんどいない
		6	ほぼ全ての家族等が
		家族等の2/3くらいが	
		家族等の1/3くらいが	
		ほとんどできていない	

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

常に利用者様・スタッフ共に明るく笑いのあるホーム。毎月イベントを開催し、その際には休日スタッフも積極的にボランティア参加をしてくれている。介護実践となる詳しい記録を心掛けている。職場内の人間関係が良好であり、上司はスタッフに対して理解があり困った時には直ぐに相談できる。広い芝生の中庭があり、天気の良い日にはゆっくりとお茶やバレーボール遊び・イベント時にはバーベキュー等をご家族様や近所の方等の大勢で楽しめる。ご家族様にイベントの参加を呼びかけており、その際にはお客様ではなく準備から一緒に手伝って頂きスタッフ・他家族様との交流など一緒に楽しんで頂ける様に工夫している。ご家族様・地域の方にホームを知って頂く為に、2・3ヶ月おきに新聞(笑ってなんぼ! わっはっは)を作成し紹介している。近隣の学校からイベント時に机など貸し出して頂いたり、中学生の体験学習の受け入れを通して関わり合いを持ち今ではイベント時など学生さんがボランティア参加してくれている。毎月の勉強会を知識のある者が教えるだけでなく、各自の勉強・再確認に繋がる様にスタッフ全員が順番にを担当企画し実施している。